

千客万来

第18号-2
H16.7.20
花澤ブドウ
研究所

ごあいさつ

盛夏夏 皆様如何お過ごしですかお見舞い申し上げます。

西日本表日本は猛暑。東北裏日本の水禍。狭い日本でも大差です。被害の多かった地方の皆様は心よりお見舞いを申し上げます。

どうかくれぐれもご用心下さいませ。

毎年 当研究所のブドウをお求めいただき大変有難うございます。今年ブドウの作柄は 春から日照に恵まれた事とスタッフ一同の愛培の努力が稔り目下凄く順調に育っています。今月十四日にやっと袋かけを終えました。今後 予期せぬ災害がなければ きっと皆様にご満足いただける素敵なぶどうを お届けできるものと期待しております。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

とつても頑張った事

一安心して食べられるぶどうを...



毎年ですが病害虫を防ぐための農薬の使用量を最少量にして効果を高める事を一番に考えました。ハウスは雨による病気は生じませんが 乾燥すると空気伝染するウドンコ病が大敵です。4ミリの防鳥・防虫ネットを通る小さな害虫もそうです。メッシュを小さくすれば通風不良で病気が出ます。そのため 越冬病害虫の根絶を目指して 発芽前の木の掃除と消毒・発芽後からの観察—発見—初期防除の徹底に努めました。

スタッフも観察力が向上し発見の都度すぐ局所を小型スプレー

で防ぎました。(500ccのペットボトルを利用・簡易スプレー)

使用農薬

* 部分使用

病気—トリフミン・サンドファンM

害虫—コテツフロアブル・アドマイヤー・モスピランを局部だけに

使用しました。



* 全面散布(三月から七月に使用した農薬)

3・15 ベンレート+オマイト || 発芽前の総合防除

4・2 トリフミン+オルトラン || 発芽初期 ウドンコ病

細害虫防除

5・8 アミスター+モスピラン || 開花前 腐敗病類・諸害虫

防除

5・27 ロフラール+スプラサイド || 結実後 腐敗病類 諸害虫

防除

6・24 マイトコーネ+オルトラン || グニ類・イラガ防除

* 今後の予想

病気発生心配はないものの害虫主として葉を傷めるハダニ類・スリップス類・トビイロトラガ等には 全面散布の必要が予想されます。(果実は袋を掛けているので汚染の心配はありません)

二美味しいぶどうを...

★堆肥の大量使用と土壤改良

何時もお知らせをしておりますが堆肥による地力培養こそが美味しいぶどうを育てる栽培方法だと考えています。



最近の高齢化・省力化・施設化に伴い 根域制限栽培・培養液肥栽培・生育促進調整資材等々多くの農法が提案されています。それぞれ長短があり理論的にも軽視できないものもあります。

す。現に私も利用したりテストしたりしています。

しかし現在 大地を使った自然との共生の中 経営という経済活動と消費者あつての商品生産である限り より自然の理に沿うべきだと思っています。

農業者の高齢化 肉体的重労働を敬遠する時代 はたして打ち出の小槌があるものでしょうか。外観的にはともかく当所のブドウが持つ微妙な味を楽しんでいただけなら幸いです。

★ハウスのフィルム更新(二号ハウス)

光線の透過を良くするため 四年でフィルムを順次更新しています。四月中旬にプロに依頼しました。やはり生育が促進されませんが高温障害も心配です。

★土壌水分の調節 灌水

梅雨明け後の高温多照が続く現在 5日間隔で灌水しています。不足すると日中の葉は活力低下。激しい時は根元に近い葉から黄化し落葉へと進みます。庭の鉢物と一緒にですね。過湿も大敵です。

★樹勢・樹姿の管理

美味な果実は 光合成能力の高い葉が房数に応じて十分な面積がある事。そして光合成による炭水化物が十分果実全部に送られ貯蔵される事です。そのため 地力に応じた樹冠の拡大・棚の上の枝葉の配列・結実させる量の調節を要します。しかし 毎日見ても 理論どおりにならないのがブドウ作りの難しさです。

三生産コストの低減を・・・

私達の必須課題として努力しています。今春は細霧防除機を入れたり念願の動力電源をつけたりしました。また地力増強用作業機・殺菌可能な電解水製造装置など欲しい物が次々に・・・。

しかし 枝葉や果実の成長に合わせた技術的な管理は 経験豊かな質の高い労力がより多く必要です。今以上の省力化は 今まで



築き上げて来た誇りと特徴を放棄する事になるため なかなか変えられないものです。

雑感



◎ 作業前のミーティングを春から始めました。毎朝その日の仕事の内容と ぶどうの生長する姿との関係について話し合いました。回を重ねるほどにスタッフのブドウを見る目が変わりました。

『見る』は『観察』に 『疑問』は『質問』にとブドウの手入れが点から線へと進歩し始めました。失敗も成功も一年に一回の経験しか出来ません。それだけに大切な勉強でした。

桃で接木の勉強もしましたが みなさん一〇〇%成功でした本気で取り組んでくださっています。ご家庭にブドウを植えたスタッフお二人。今年は初なりです!

◎ 暑いハウスでの作業中選挙カーから流れる話題は年金問題。だれ一人増税以外財源を増やすために国や国民の生産性をどうするかという事は話されませんでした。打出の小槌があるわけではないのに・・・と私のような高齢者が心配するのは数蛇でしょうか。

◎ 私の住む瀬戸町でも 農業後継者不足・不耕作地の増大等 農業経営は深刻です。国の食糧自給率の向上 自然環境の保全 食農教育の推進等 農業振興のために農業の果たす役割は大きく啓蒙されてきました。しかし さらに私の主張したいことは農業・農村の持つ人間教育の素晴らしさが隠れている事を忘れてはいけないう事です。戦後 奇跡とも言われる日本の発展の原動力は 農村社会が育てた素晴らしい人間の資質です。農業の衰退は日本の未来を担う青年と能力の喪失に連なるのではないのでしょうか。

◎ 全国ブドウ懇談会

来る八月十八日〜十九日 当研究所を集合場所にして全国でブド

ウ栽培に燃えている有志が集まります。

「これからのブドウ農家の課題」を論じ新品種の情報交換や優秀農家の見学など研修会を開催する予定です。

◎本場に美味しいぶどうを選んでください

当研究所が苦心の末開発した『瀬戸ジャイアンツ』（桃太郎ブドウ）が話題になり始め 今年には消費者からも市場からも注目を浴びています。百名近い生産者も出来ました。しかし既に

『どんなのでもいいから出荷してくれと市場から言われたから・・・』とか『少々悪くても今なら売れるから出せばいいと言われたから・・・』とか何とも悲しい声が栽培農家から届きます。このブドウを開発した私は残念でなりません。

ブドウのことが本場に分っている仲買人もおられるはずなのに・・・大丈夫かなと心配になり始めました。同一品種とは思えないほど出来・不出来の差が生じています。オレオレ詐欺ではないにしても どうぞ本場に美味しいぶどうをお求めになられますように皆様もご研究下さい。

お詫び

一日研修をご希望の方が七名。（岡山一名・倉敷二名・瀬戸四名）楽しみにしておりましたが 親族の訃報が入り中止。また来年を楽しみにいたしております。

総合学習

『瀬戸町立江西小学校』の四年生八十八名が勉強に来ています。

*一回目―花の時期―一房の蕾の数が一〇〇〇から二〇〇〇もあって驚いたようでした。

*二回目―袋かけの時期―一房五〇粒前後になった房に驚きその理由を聞いて納得。それぞれの願いを果実袋に書いて 袋を掛ける実習をしました。

次回は収穫の時期に一回と収穫後の作業を一回勉強します。

（二〇〇四年七月一日 花澤 茂記）

編集後記

皆さんから注文書はまだかとの問い合わせが相次ぎ お使いの発送を急ぎました。（手書きファンの皆様ごめんなさい。）

ハウスが二箇所になり仕事の量が倍増。以前は二時間もあつたら書いていたお便りがさつきと書けなくなつたのです。

次回もつと編集方法などPCの勉強をしておきます。とりあえずみんな元気で一山乗り越えました。ありがたいことです。頑張ります！

十月中旬に入つたら 園内をご案内する余裕が出来ます。どうぞご来園下さいませ。

ただ 見学予定が入る事がありますので 必ず事前にご連絡ください。お願いします。

連絡先 〓（日中は畑にいる場合が多いので 自宅の電話は「留守番電話」にしています。）

*ブドウの栽培関係のご質問は 守番電話にしています。

*ブドウの見学・販売関係のことは 茂―携帯電話（090・3636・8837）

*ブドウの見学・販売関係のことは 睦子―携帯電話（090・3631・4436）

E-mail wine6250@po7.oninet.ne.jp

（平成一六年七月二十二日 花澤睦子記）

